

学習指導案の形式（例） 小学校総合的な学習の時間

第○学年○組 総合的な学習の時間 学 習 指 導 案

令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 探究課題

例：地域の防災とそれに関わる人々の思いを知り、命を守るために何ができるかを考える。等

◇総合的な学習の時間における「内容のまとめ」を定めるときに、各学校において定める目標を実現するのにふさわしい探究課題、つまり児童が「何について学ぶか」を設定することになっている。ここでは、その「何について学ぶか」を記述する。

2 単元名 例：みんな安心 ○○防災プロジェクト 等

◇探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことができるような単元を構想し、どのような学習が展開されるかを一言で端的に表現する。

3 単元設定の理由 ○○○○○○○○○○○○○○○

◇なぜこの単元を設定したかについて、様々な要素からその設定理由を述べる。
 *要素としては「児童の実態」「育てようとする資質・能力」「内容について」「教師の願い」「地域や学校の特色」「社会の要請」「学校の研究課題との関連」「各教科等との関連」等が挙げられる。
 ◇指導者の立場で書く。

4 単元の目標

◇単元の目標は、どのような学習を通して、児童にどのような資質・能力を育成することを目指すのかを明確に表現する。各学校で定めた目標及び内容を視野に入れ、中核となる学習活動を基に構成された単元の目標を定める。なお、目標の表記については、一文で示す場合、箇条書きにする場合等が考えられる。

◇一文で示す場合

例：○○○○○○を通して（学習の対象）、○○○○○○○○に気付き（「知識及び技能」に関する目標）、○○○○○○○○○について考えるとともに（「思考力、判断力、表現力等」に関する目標）、○○○○○に生かそうとする（「学びに向かう力、人間性等」に関する目標）。
 （文中に3つの資質・能力を盛り込むことで、評価規準を作る際のよりどころとする。）

◇箇条書きにする場合

例：（1）「知識及び技能」に関する目標（例：～理解できる。等）
 （2）「思考力、判断力、表現力等」に関する目標（例：～考える。等）
 （3）「学びに向かう力、人間性等」に関する目標（例：～しようとする。等）

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①例：～理解している。 ②例：～できる。	①例：～考えている。 ②例：～収集している。	①例：～しようとしている。

◇単元の目標を踏まえて、各学校で観点の枠組みを設定する。
 ◇実際の探究的な学習場面を想起し、単元の目標に示した資質・能力をより明確にして評価規準とする。例えば、「思考・判断・表現」では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の過程に合わせて番号を位置付けて書く。
 ◇指導者の立場で書く。

--	--	--

6 指導と評価の計画（全○時間）

次（時間）	ねらい・学習活動	知 技	思 判 表	態 度	評価規準及び評価方法
1 ○○○ ○○○ (○時間)	○ ◇学習過程に沿って児童の活動を書く。 ◇一人一人の児童が何をめあてに活動すればよいのかをつかめるように具体的に書く。	①	①	①	例：～している。 ～しようとしている。 (方法) ◇評価方法の例 知：作文シート 思：発言内容 作文シート 態：行動観察
2	○ ○ ○	① ③ ①	 ② ③	 ②	 ◇「5 単元の評価規準」の観点と一致させ、番号でつなげて書く。 ◇ねらい・学習活動に合わせて、評価の観点の番号を位置付ける。ねらい・学習活動によって、一つの評価の観点で評価する場合や、三つの評価の観点で評価する場合がある。
3	◇文末表現の例 ～を確かめる。 ～に気付く。 ～を知る。 ～を考える。 ～を発表する。				
4	◇児童の立場で書く。				

7 本時案（第○次 第○時）

- (1) 本時の目標
例：～することができる。

- ◇「4 単元の目標」「6 指導と評価の計画」との整合を図る。
◇本時の評価規準との整合を図る。
◇児童の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1	○	
◇児童の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇児童の立場で書く。
2	○	
(1)	<p>めあて</p> <p>◇児童の目的意識のまとまりを踏まえて、何をどのように学ぶのかを明確にして本時のめあてを書く。</p>	
◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。		◇本時の目標と評価規準を具体的に書く。抽象的ではなく、実際に評価可能な具体的な項目を挙げる。
(2) 例：～について話し合う。	○例：～することで、～できるようにする。	◇評価の場面は1、2箇所にとり、絞る。評価規準に合わせて、評価項目を明確にする。
◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、児童の学習活動を具体的に書く。 ◇授業展開について「岡山型スタンダード（授業5）」を参考にする。	<p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習を進めるための手だて ・児童が対話的に学習を進めるための手だて ・児童が学習を深めるための手だて ・児童一人一人の学習状況に応じた手だて ・予想される児童の反応 ・資料提示のタイミングや方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物等 <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>◇「努力を要する」状況（C）と判断される児童への手だてを書く。</p>	◇評価方法を具体的に書く。
3		○例：～している。
4	○	[評価の観点] (評価方法)
	<p>まとめ</p> <p>◇本時に何を学んだのかがわかるように整理し、本時のめあてと対応したまとめを書く。ただし、授業によっては、教師が児童の学びを価値付け、児童がそれぞれの学習の成果を、一人一人表現したものを本時のまとめとするような場合もある。</p>	◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノート、ワークシートの記述等
5	○	
	◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一歩先へ！」』を参考にする。	

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する児童の姿 例：～している。

◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿について、想定される児童の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な児童の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。